意見交換題

１　「ヤングケアラー及びその家庭への支援体制の整備」に関して	
	（１）地域による支援体制の格差の是正について
	サービスの運用等、自治体によって支援体制に違いがある。県内市町村における支援体制の実態把握を行い、必要に応じて認識の統一を図ることに加え、好事例の横展開を行うことで、地域によるサービスの差を埋めることができるのではないか。
	（２）見守りケースへの対応について（関係機関の連携）
	ヤングケアラーの疑いがある児童について、「気づき」から支援機関への「つなぎ」が迅速に行われるようになった市町村もある。しかしその後の支援において、特に「見守り」対応となったケースは、主で関わる機関の負担が大きく、多機関での進捗管理及び支援方針再検討の機会の確保が難しいといった課題がある。
２　「ヤングケアラーに関する社会的認知度の向上」に関して	
	（１）保護者の理解促進に向けて
	ヤングケアラーの疑いのある児童を把握しても、児童本人や保護者が問題意識を持っておらず外部支援にもつながっていない場合は、家庭内の実態把握や保護者へのアプローチが難しい。
	（２）ヤングケアラーに関する適切な知識の普及啓発について
	「ヤングケアラー」という言葉自体は浸透してきているが、ヤングケアラーの実態に関する認知度は十分とは言えない。ケアを行うことへの受け止め方は個々人で異なり、背景の個別性があるために、ヤングケアラーの問題については画一的に対処するものではないということを、伝えていく必要がある。